

診療台で自立する 子供たち



岡崎歯科医師会会長
和田 昭 氏

教育随想



平成26年6月1日

6月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
岡崎歯科医師会会長 和田 昭氏	
この人に聞く	2
第51回全日本剣道選手権優勝 近本 巧氏	
羅針盤	2
葵中学校長 内田 義和	
ふれあい	3
豊富小 川崎 友典	
特集	4
文化都市「岡崎」3美術館を巡る	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
「岡小の森」で歌う児童 (昭和54年)	
この本を	8

開業して三十年以上診療台の上で泣き喚ぐ子供たちを相手に悪戦苦闘してきました。

そんな中で最近感じるのは、歯科医院の診療台の上で初めて自分の意にそぐわないことをされる子供が増えてきているということです。多くの子供たちが、家庭内では自分の思うままに生活しているのではないでしょう。嫌なことを強いられる、泣いて拒絶し懇願すれば逃れられるということを学習してきてしまっています。甘やかされるのを当然の権利として享受することに慣れ切ってしまったているのです。これは少子化の弊害かもしれません。

しかし、痛みが出ていたり、炎症を起こして腫れていたたりなどの緊急性の高い処置には甘えを許容する余地がありません。やるべきことはやらなくてはなりません。そのような状況では、泣く子供の泣き方が変化

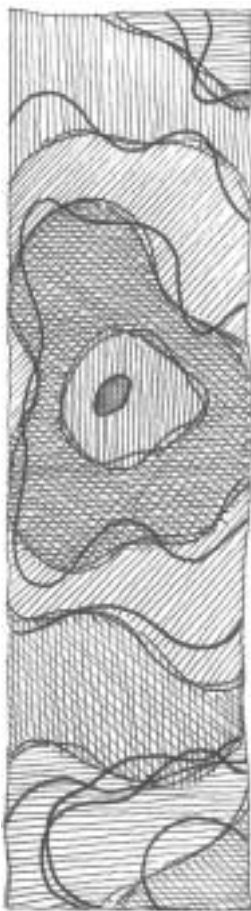
してきています。昔は純粹に「恐怖」で泣く子供が多かったのですが、最近では「やりたくないことを無理やりさせられている」という怒りの泣き声が多い気がします。治療が終わったからの方が泣き方はエスカレートし、母親に当たり散らかす姿をよく目にします。

歯科治療は大人でも嫌なもので、恐怖感をあおる要素が多々あります。子供がそれを克服するのはとても大変なことです。痛くない処置を根気よく続けて、「なぜ歯を削らなければならないのか」、「なぜ麻酔の注射をしなければならないのか」

といった治療の必要性が理解できれば、とても協力的になります。その証拠に、外傷で歯を折ったりして治療する子供たちは、本能的に治療の必要性を理解できています。それに治療は意外とスムーズにいくことが多いものです。

子供にとって歯科の診療台は自立への第一歩であり、そこで将来へ向けての健康の種を植え付けているのです。診療台の上で自立した子供たちが、大人になり自分の子供を連れて来院してくれたときが歯科医冥利に尽きる瞬間です。

(わだ あきら)



人に聞く



自己を鍛える

第五十一回全日本剣道選手権優勝

近本 巧氏

ぴんと伸びた背筋で、真っ直ぐに目を見て話を続ける。その凛々しきを感じる雰囲気は、剣道一筋に歩んできたこれまでの人生が醸し出したものであるように感じた。「剣道が好きでした。だから苦しい練習も平気でした。」

小学四年の時に、兄の影響で剣道を始めた。その後、練習を重ねる中で、その魅力に気付いたという。「試合になったら相手と自分との勝負です。出方を読み、いろいろな発想をしなければ勝てません。技術的な要素はもちろんです。精神的な要素が大きいのが、本当に難しくてもおもしろいですね。」

大学卒業後は、愛知県警に入り、特別練習生としてさらに練習に打ち込む日々を過ごした。



「日ごろの練習の中で、どこまで殻を破るかで自信がつくと思います。勝負は対一です。誰も助けてくれませんが、最後は自分をどれだけ信じていることができるかが、勝負の分かれ目になりますね。」

近本選手は、スピードの速い面打ちを得意技としていた。三十三歳の時に出場した三度目の全国大会では、前年優勝した選手と決勝で対戦した。相手が、近本選手の面打ちを警戒する中でも、ひたすらこの面を繰り出し、見事な一本で日本一に輝いた。「あの場所に立つたら、勝ちたいと思っただけですね。自分の出せる全てのものを出すしかないのです。最終的には、いろいろな思いを捨てきれないと、技は決まりません。」

全日本チャンピオンとなって一番変わったのは、周りの人からの目であつたという。

「人から見られるという立場に立つたことで、大きな刺激を受けました。何かをするときに、安易に妥協をしないようになりました。その結果、自分が大きく成長したと思います。」

現在は、週末ごとに日本各地に赴き、大人から子供まで幅広く指導にあたる日々を過ごしている。「上達の近道は、とにかく好きにな

ることだと思えます。何事も自分から学ぼうとしないためです。」

好きだからこそ、厳しい練習にも耐えられるし、周りに対する感謝の気持ちももてるのだという。

「自分がやってきたことしか教えることはできません。だから大人でも子供でも教える内容は同じです。」

しかし、どう伝えるかは違います。言っている内容が理解できるように、相手に合わせてかみくだくようにしています。厳しい言葉だけではだめなのです。」

自分の信念を曲げずに、相手に合わせて指導を行う姿は、まさに近本選手が試合で戦うときのスタイルと一致する。

「組みづらい相手との試合で、自分の技が上手に出せず、不満な様子で帰ってくる選手がいます。そういうときにはすかさず、相手がいて初めて試合が成立することを論じます。」

対戦する相手に、感謝の気持ちを持ち、勝つてもおごらず自分の試合をする。技術的な練習も大切だが、精神的な強さを鍛えることを、最も大切にしているという。

「剣道はたたくし、たたかれます。そうした中で、人の痛みが分かるようになるところが、この競技のよさの一つだと思えますね。」

日本一の技術は、自己鍛錬のみでなく、他者に対する共感と理解の上に成り立つものだと強く感じた。

氏名 ちかもと たくみ
生年月日 昭和四十五年十二月五日
住 所 岡崎市青木町

羅針盤

教師の挑戦する姿勢

葵中学校長

内田 義和

私が小学生のころ、挑戦的に授業改善に取り組む担任の先生に新鮮さとわくわく感を覚えた。家に帰って「今日、A先生が授業で、こんなことをさせてくれた」と言うと、「さすがA先生だね。すごいね」と、母親は、担任の先生への敬愛の言葉で応じてくれた。子供ながらに、この先生に担任していただいていることを誇りに思った。

教師が常に自己の成長を目指して挑戦し続けることが、子供の学ぶ意欲を前向きにする。このことは時代が変わっても、教師として忘れてはならない不易の姿勢だと思ふ。

さて現在、教師として挑戦してほしいことの一つに、ICTを活用して「学びのイノベーション(革新)」を進めるということがある。新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる



牛に対する思い

豊富小 川崎 友典

「ぼくは、三年生の力だけで、牛を飼うことはできないと思います。」

これは、「学校で子牛を飼うことができるのか」という話し合いでの、A男の発言である。

「酪農家の片岡さんが大切に育てた牛を、ぼくたちが飼って失敗したら、片岡さんの三六五日の努力が、水の泡になってしまうからです。」

とその理由を語った。学校で牛を飼いたい、飼えるはずだという意見が大半を占める中での反対意見に、教室は静まりかえった。「特に、どんなことが不安なのか」と私が問うと、「えさの量を間違えて、病気になってしまいかもしれない」と、牛の命を気遣う答えが返ってきた。だから私は、A男の不安を取り除こうとする意見の子を多数指名した。それでも最後までA男は簡単に納得しよう

とはしなかった。

話し合いが平行線をたどり結論が出ないまま「このままでは、A男のせいで牛を飼えないかもしれない」という空気が漂い始めた。A男を悪者にしてはならないと思い、私は、「片岡さんの牛を大切にするA男の気持ちをも、片岡さんに伝えてみよう。それからどうするか、もう一度みんなで考えよう。」

とこの授業を締めくくった。安易な結論にしない方がよいと思ったからだ。この話し合いの経緯を片岡さんに伝えると、直接話をしてくださるようになった。

片岡さんからお話があると聞いて、A男をはじめクラス全員が、話に聞き入った。

「我々酪農家が世話をしても、牛が病気になることも死んでしまうこともある。そのことを心配するよりも病気になるないように、責任もって世話することが大切だよ。そのせいで病気になっても誰の責任でもないから安心してください。大丈夫。」と語ってくださった。この話を聞いたA男は、

「ぼくも、飼いたくなかったわけではない。片岡さんが言われたことを守って、がんばってみよう。」と、自信に満ちあふれた表情で力強く語った。

子牛がやってきた日。A男は牛の体を清潔に保つために牛小屋の掃除をした。牛の唾液やふんが服に付いてしまったことを気にすることもなく黙々と作業を行った。

「服が汚れているよ。」と私が言うと、

「牛のためだから。」と平気で答えたA男。牛の命や片岡さんの牛に対する思いについて、深く考えたA男だからこそ言えたのではないか。牛を飼うことについて、子供と共に、自問自答を繰り返してきた。この最後の言葉によって、命の大切さを実感させる取組みが間違いでなかったことを実感した。

そんなA男の姿に、私も掃除道具を握る手に力がこもった。



る領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会（知識基盤社会）が到来し、グローバル化が進展する中で、どの国の人も対等に話し合い、個性を發揮しながら協働していくことが求められる時代となった。このような状況の下で、子供たちに二十一世紀を生き抜く力を育むためには、教育におけるICTの活用は不可欠である。

教師が子供の発達段階や学習内容を考慮して、デジタル教科書などの教材を導入する。子供がノートPCやタブレットPCなどの情報端末、デジタル機器や無線LANを駆使し、個別学習や班学習、協働学習を展開していく。一方で、「一斉授業」「班学習」「個別学習」「協働学習」のよさを生かすには、どんな場面や学習内容が適しているか。さらに、それらをどう組み合わせ、授業を構成するべきかを実証研究していく。こうして新しい授業を創造する中で時代が求める子供の生きる力を育成していくのである。

ただし、今までの授業をがらりと変えるという意味ではない。各教科の本質は見失わないようにし、学びの手段として、ICTを活用するという基本理念を忘れてはならない。



文化都市「岡崎」 3美術館を巡る

▲ 岡崎市美術博物館（高隆寺町）

岡崎市は、岡崎城を始めとし、数々の史跡や資料館などがあり、文化・歴史を大切にしている。中でも、美術館は、全国的にも珍しく「岡崎市美術博物館」「おかざき世界子ども美術博物館」「岡崎市美術館」の三館があり、それぞれの特徴を活かして運営されている。「岡崎市美術館」は、愛知県美術館に次ぐ県下二番目の昭和四十七年八月十日に開館した。主に、郷土ゆかりの作家による作品を収集、収蔵している。現在は、館蔵品の展示とともに、市民ギャラリーとしても、年間約一四〇団体による展覧会を実施している。「おかざき世界子ども美術博物館」は、昭和六十年五月四日に、日本最初の子供のための美術館として開館した。国内一の造形体験教室がある。また、著名な画家の十代の頃の作品を常設展示していて、本物に触れる機会を提供している。

「岡崎市美術博物館」は、平成八年七月六日に開館し、現代美術・原始美術など心を語る美術館をめざしている。作品の保管・収集・展示と共に、年間約六回の企画展を実施している。

三館共通の年間パスポートも発行されており、三館の特徴である「発表」「創作」「鑑賞」を目的に有意義に活用できる。大人はもちろん、感受性豊かな子供の時期に、三館を訪れ、文化都市「岡崎」を実感してほしい。



▲ 岡崎市美術館（明大寺町）
岡崎市小中学校書き初め展（平成25年度）

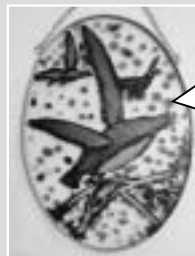


◀ その他
テラコッタ

くつ型は、
植木鉢として
使用できる。



▲ 2位 ジェル万華鏡
変わる模様が美しい。



▲ 3位 スタンドグラス（丸型）

丸や四角い
ガラスタイプ
他に、自由に
形が変えられる
プラスチック
モバイルタイプ
のもの等、タイプ
が選べる。


造形教室人気ランキング（平成25年度）

- 【参加校44小学校・参加児童3501名】
- 1位 巾着袋
 - 2位 ジェル万華鏡
 - 3位 スタンドグラス、テラコッタ、ランチョンマット 等



▲ 1位 巾着袋
色がきれいで実用的。人気上昇中。

▲ おかざき世界子ども美術博物館（岡町）




浮世絵では最高レベルと称される平木コレクション。本展では公開さえも制限される重要文化財など国指定品ばかり約150点を特別に展示する空前絶後の浮世絵展です。

▲ 東洲齋写楽
「二代目嵐龍蔵の金貨石部金吉」

平成26年度 展覧会スケジュール

- ・ 4/5～6/1
「藤井達吉の全貌」
- ・ 6/14～7/27
「古文書みりよく発見！」
- ・ 8/9～9/21
「法隆寺展～聖徳太子と平和への祈り」
- ・ 10/4～11/24
「浮世絵の美～平木コレクション」
- ・ 12/2～1/18
「新収蔵展」
- ・ 1/31～3/29
「暮らしのうつりかわり」

*展覧会タイトル内容は、変更する場合があります。




「聖徳太子信仰」「平和への祈り」をテーマに、国宝「観音菩薩立像(夢違観音)」をはじめとする白鳳時代の仏像の名品に加え、国宝・重要文化財約20件を含む法隆寺・聖徳太子ゆかりの宝物を一堂に展示し、「日本仏教の祖」聖徳太子の偉大な足跡をたどります。

◀ 国宝「観音菩薩立像」


みんなでアートを観に行こう！

- ・ 企画展ごとに、学校から無料バスの利用可能。
- ・ 企画展にあわせた作家のトーク等もあり。
- ・ 総合学習や社会などの学習に役立つ。
- ・ 本物を観ることで、鑑賞の力がつく。



▲ 「暮らしのうつりかわり」(平成25年度)
【参加校38小中学校・参加児童生徒3065名】

岡崎市美術博物館
鑑賞



身近に素晴らしい作品がたくさんあります。大切な子供の時期に本物の芸術と出合っしてほしい。学芸員 村松和明氏





▲ 市民ギャラリー 市民の作品を発表

所蔵作品



▲ パブロ・ピカソ (14才)
「男性頭部石こう像のデッサン」



▲ EBアート 陶器のような美しさ



▲ 芸術分野情報コーナー
市民の情報発信や憩いのスペース

岡崎市美術館
発表



▲ 「アートで食べよう!おいしい食卓展」
4/19～7/13 本物そっくり積木のお寿司



▲ ウレタン工作
工作教室人気NO.1 種類の多さは圧巻

おかざき世界子ども美術博物館
創作

美術系3施設共通年間パスポート 価格1枚(1人)3,000円

- ・ 岡崎市美術博物館、おかざき世界子ども美術博物館、岡崎市美術館の展覧会が有効期間内は何度でも無料で入場できる。
- ・ パスポートの提示で、岡崎城をはじめ岡崎市内施設において入場料割引あり。詳しくは各施設にお問い合わせください。
- ・ 年間パスポート販売窓口 上記3施設。【お問い合わせ先 代表 岡崎市美術博物館 ☎ 0564-28-5000】



● 芸術鑑賞会

今年度も芸術鑑賞会を行う。芸術・文化活動の優れた作品等の鑑賞や体験活動を通して、子供たちの感性を育み、未来を担う子供たちの健やかな成長を図る。

参加対象は、小学校六年生全員と教員で、劇団「四季」の「こころの劇場」として、岡崎市で招待公演する。作品は、『ふたりのロッセ』を予定している。

この機会が、子供たちに大きな感動を与えてくれることを期待している。

○日時
八月五日(火)
・午前の部 十時三十分～
・午後の部 十四時～
八月六日(水)
・午前の部 十時三十分～

○場所 岡崎市民会館

○演目 『ふたりのロッセ』

○参加日時は学校ごとに指定する。

● 表彰



◆愛知縣護國神社奉納弓道大会
団体中学女子の部
二位 額田中
小野斐加 青山美咲
藤井 萌

◆第21回愛知県ヴォーカルアンサンブルコンテスト
金賞 六ツ美北中合唱部
チーム「夢見るココロ」
銀賞 矢作中合唱部
チーム「矢作中学校B」
銀賞 常磐中合唱部
チーム「TKW9」
銀賞 六ツ美北中合唱部
チーム「たわむれるココロ」
銅賞 矢作中合唱部
チーム「矢作中学校A」

● 小中学校のようす

平成二十六年年度岡崎市内の小中学校の概要がまとまった。五月一日現在の学校数や学級数、児童生徒と教職員の数を表に示した。

一校当たりの児童・生徒数は、小学校が三名減で、中学校が四名減となった。一校当たりの学級数は、小学校、中学校とも変わらなかった。一学級当たりの児童・生徒数は、小・中学校ともに三名減となった。

岡崎市内の児童・生徒数の合計は、昨年よりも一九〇名減少した。教職員数は八人減となった。

再任用教職員は、六十八名である。

● 学校・学級の規模 (市内平均)

	小学校	中学校
1校当たり児童・生徒数	462人	556人
1校当たり学級数	17学級	18学級
1学級当たり児童・生徒数	27人	31人

● 学年別児童・生徒数 (人) (平成26年5月1日現在)

学年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
男	1,937	1,884	1,796	1,839	1,818	1,973	1,865	1,899	1,919
女	1,732	1,780	1,732	1,762	1,699	1,773	1,820	1,845	1,767
計	3,669	3,664	3,528	3,601	3,517	3,746	3,685	3,744	3,686

教員補助者は一九一名で、うち四名は養護教諭支援員。教員補助者全体は十一名増。英語支援員は十八名、ALTEは二十名で、変わらない。

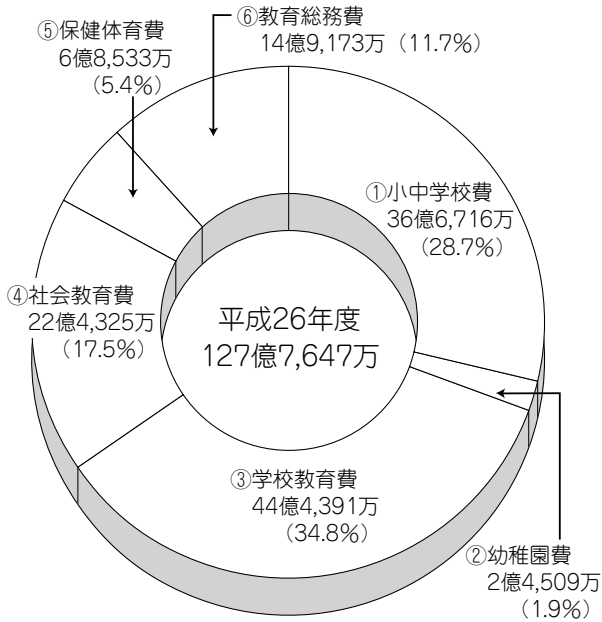
● 児童・生徒・教職員数 (人) (平成25年5月1日現在)

区分	学校数	学級数 <内特別支援>	児童・生徒 (人)			校長・教頭・教諭 (人) *養護教諭・期限付き講師・再任用含む			養護教諭 (人)	事務職員 (人)	養護教諭 (人)
			男	女	計	男	女	計			
小学校	47	797 < 87 >	11,247	10,478	21,725	430.5	649.5	1,080	9	51	50
中学校	20	359 < 42 >	5,683	5,432	11,115	391.5	267.5	659	4	27	23
合計	67	1,156 < 129 >	16,930	15,910	32,840	822	917	1,739	13	78	73

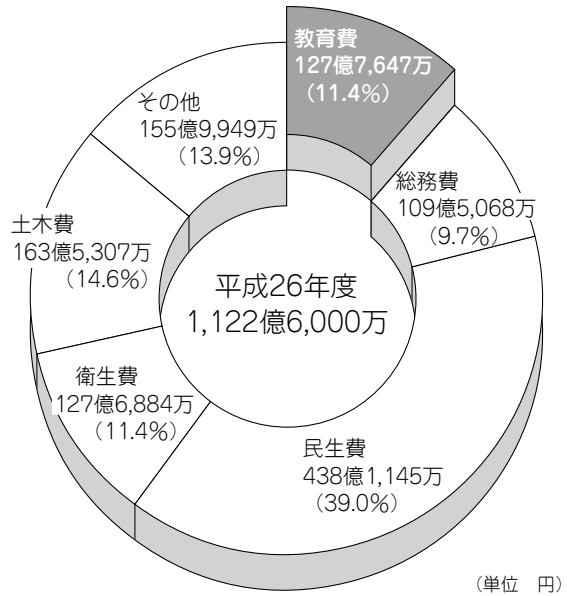
平成26年度 岡崎市の教育予算

夢ある次の新しい岡崎を創る予算

〈教育費の内訳〉



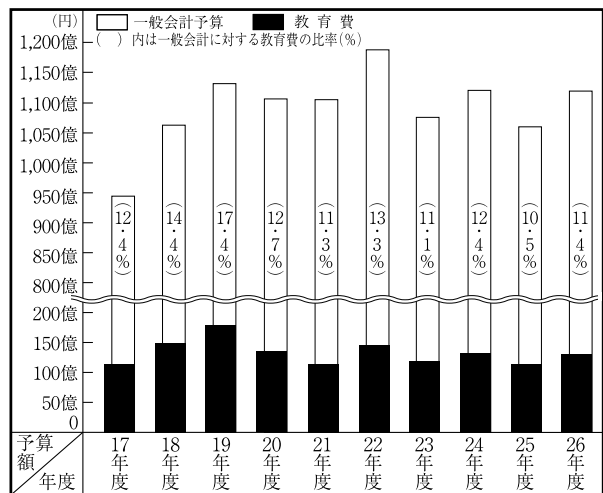
〈一般会計予算〉



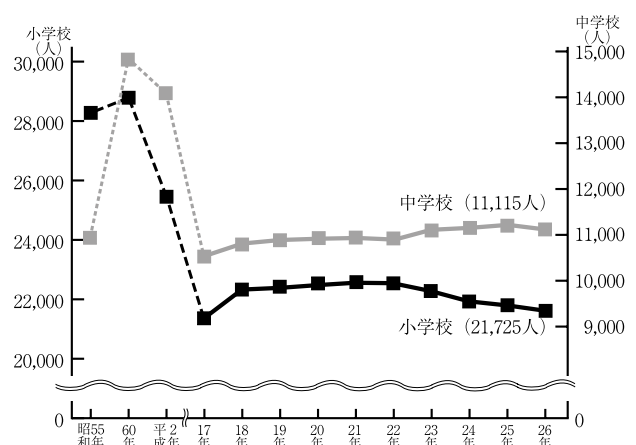
◆平成26年度のあらまし◆

小中学校費	柔剣道場整備 (六ツ美中) 屋体非構造部材耐震化 (梅園小・根石小・六名小・連尺小・井田小・愛宕小・大樹寺小・矢作北中・北中・六ツ美北中・葵中・甲山中・福岡中・東海中・矢作中・竜海中・常磐中・城北中・南中・岩津中・美川中) 便所簡易改修 (北野小・岡崎小・小豆坂小・城南小・美合小・矢作西小・本宿小・三島小・常磐小・六ツ美中部小・山中小・奥殿小・愛宕小・竜谷小・恵田小・形埜小・秦梨小・常磐東小・宮崎小・下山小・夏山小) 屋体・校舎外壁等改修 (緑丘小・竜美丘小・広幡小・男川小・六ツ美中部小・上地小・矢作南小・城北中) 便所全面改修 (六ツ美北部小・岩津小・大樹寺小) : 繰越 高圧受電設備改修 (三島小・甲山中) 職員室空調設備改修 (甲山中・葵中・岩津中・六ツ美中・六ツ美北中) 図書室空調設備設置 (常磐南小・常磐東小・夏山小・宮崎小・下山小) 美術室整備 (葵中) ※小中学校名は予定 就学援助事業 (要・準要保護児童生徒、特別支援教育就学奨励)
学校教育費	行事開催事業委託及び指導研修 教育の振興、研究助成 児童・生徒の健康診断・健康維持 小中学校各種スポーツ大会開催 児童・生徒の健全育成、生き方教育の推進 ESD (持続可能な開発のための教育) の推進 スーパーサイエンススクールの推進 英語・数学・理科指導用タブレット型端末の導入・活用 学校情報メールシステム運用業務 理科観察実験支援事業 総合学習センター・教育相談センター管理運営 学校給食事業
社会教育費	生涯学習推進事業 家庭教育推進事業 青少年健全育成推進事業 文化財保存管理事業 文化財整備活用事業 視聴覚事業 少年自然の家管理運営及び施設整備事業
教育総務費	奨学金関連業務 私立高校等授業料補助業務

◆一般会計予算と教育費の推移



◆児童・生徒数の推移 (数字は毎年5月1日現在)



・カ
ツ
ト
福
岡
中
山
田
周

「岡小の森」で歌う児童 (昭和54年)

写真提供：岡崎小学校

この写真は「岡小の森」で朝の歌を歌う三年生の児童である。岡崎小学校は「いつでも。どこでも、だれでも歌声を」を目標に、昭和五十二年度から音楽教育の充実に取り組んだ。体をゆすり手拍子をしながら歌う子や、前に立って堂々と指揮棒を振る子の姿がほほえましい。

この取組は、昭和五十七年に、他の四校と開催した全日本音楽教育研究会で、全国の先生方に発信された。

昭和五十二年当時の学習指導要領改訂では、「豊かな人間性」がねらいの一つに挙げられた。それ以後、豊かな表現力の育成は、芸術にも言語にも及んで、教育の重要な課題となっている。



岡崎には、最高の芸術に触れられる美術関連の施設がある。そして、岡崎ゆかりの作家のなんと多いことか。その熱い情熱が今の岡崎を作っているのだと、改めて感じた。美術博物館には、はるばる遠くから足を運ぶ人が多い。

梅雨の時期、雑踏から離れ、ゆつくりと芸術を愛でてみようか。

修学旅行で、首都である東京と鎌倉の歴史を探索できる神奈川を訪れる。日本の産業・生活・歴史を学び、協調性・責任感・公衆の徳を身に付ける。この時期の鎌倉の街は、アジサイの花で華やかに彩られる。寝食を共にする級友との学びを通して、自然の美しさを感じ、生涯かけがえない思い出ができるようにしたい。

シ オ ス ア

涼しげな白いシャツが、目立ちはじめ季節となった。季節に応じて、衣服を着替える衣替えは、古くからの宮中行事であった。季節の変化がはっきりしている日本特有の習慣であるという。



足さばきの練習が最も大切だと近本選手は言う。竹刀を持ち、ひたすら下半身の動きを確認する練習である。「愚直に基本をやっていたのが良かった」元全日本チャンピオンだからこそ、基本の大切さを誰よりも理解しているであろう。自分自身にとつての基本とは何だろうか。じっくり考えたいと感じた。



*日本人に「宗教」は要らない ネルケ無方
KKベストセラーズ ￥819

心に残った一文
日本人は自覚せず、遙か昔から、宗教的な行いと心を持ち合わせている。

牧師を祖父にもつドイツ人の著者が16歳で禅と出会い、後に出家得度を受けた。曹洞宗の住職となり、日本人よりも日本的な感性をもち現在を生活している。合理的な視点から日本人の本質を考察しているところが、実に面白く興味深い。「キリスト教やイスラム教の国々は、宗教間の争いが絶えない」との記述もあり、心が痛む。日本は、日々の生活の中に宗教的な行いと心を持ち合わせて生きているからこそ、宗教は必要ないと述べている。同感である。

- *ケータイ社会論 岡田朋之・松田美佐 有斐閣選書 ￥2,200
- *ディズニー大学 ダグ・リップ 星雲社 ￥1,800
- *吉田松陰 川口 雅昭 致知出版社 ￥2,000
- *人生の大則 藤尾 秀昭 致知出版社 ￥1,100
- *本の値段は本体価格 美川中 和田 実